

# 製品安全データシート

改訂日 2023年9月27日

## 1. 化学品製品及び会社情報

製品名 1,6-ヘキサンジオール (1,6-Hexanediol)

供給者の会社名称 アーク株式会社

住所 大阪府大阪市北区西天満3丁目10-3

電話番号 06-6809-5970

FAX番号 06-6809-5975

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 JIS Z 7252、7253 : 2019 使用

物理化学的危険性 該当する区分なし

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2B

環境に対する有害性 該当する区分なし

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル なし

注意喚起語 警告

危険有害性情報 眼刺激

注意書き

### 【応急措置】

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師に連絡すること。

## 3. 組成、成分情報

化学物質/混合物の区別 化学物質

化学名又は一般名 1,6-ヘキサンジオール

濃度又は濃度範囲  $\geq 99.5\%$ (GC)

CAS番号 629-11-8

別名 1,6-Dihydroxyhexane , Hexamethylene Glycol , 1,6-Hexylene Glycol

化学式 C<sub>6</sub>H<sub>14</sub>O<sub>2</sub>

官報公示整理番号

化審法 (2)-240

安衛法 公表化学物質

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。

多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

応急措置をする者の保護 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

#### 5. 火災時の措置

消火剤 粉末, 泡, 水噴霧, 二酸化炭素

特有の消火方法 消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、個人用保護具を着用する。

保護具及び緊急時措置 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項 製品が排水路に排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法 粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。

機材 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

粉塵が飛散しないように注意する。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項 粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。

安全取扱い注意事項 皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

### 保管

適切な保管条件 容器を密栓して冷暗所に保管する。

不活性ガスを充填する。

湿気を避ける。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

避けるべき保管条件 湿気

安全な容器包装材料 法令の定めるところに従う。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度 設定されていない。

### 保護具

呼吸器の保護具 防塵マスク、簡易防塵マスク等。

手の保護具 保護手袋。

目の保護具 保護眼鏡。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具 保護衣。状況に応じ、保護長靴。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 固体 (20℃)

形状 結晶 ～ 粉末

色 白色 ～ ほとんど白色

臭い 情報なし

pH 情報なし

融点 42℃

沸点/沸騰範囲 250℃

引火点 情報なし

燃焼又は爆発範囲

下限 情報なし

上限 情報なし

比重 情報なし

溶解度

[水] 情報なし

[その他の溶剤] 情報なし

#### 10. 安定性及び反応性

化学的安定性 適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性 特別な反応性は報告されていない。

混触危険物質 酸化剤

危険有害な分解生成物 一酸化炭素, 二酸化炭素

#### 11. 有害性情報

急性毒性 orl-rat LD50:3730 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性 情報なし

眼に対する重篤な損傷/刺激性 情報なし

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性

IARC = 情報なし

NTP = 情報なし

生殖毒性 情報なし

RTECS番号 M02100000

#### 12. 環境影響情報

生態毒性

魚類 情報なし

甲殻類 情報なし

藻類 情報なし

残留性/分解性 情報なし

生体蓄積性(BCF) 情報なし

土壌中の移動性

オクタノール/水分配係数 情報なし

土壌吸着係数(Koc) 情報なし

ヘリ定数 (PaM3/mol) 情報なし

### 13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

### 14. 輸送上の注意

国連分類 国連の分類基準に該当せず。

国連番号 該当なし。

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にいき、法令の定めるところに従う。

### 15. 適用法令

労働安全衛生法 非該当

消防法 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 非該当

危険物船舶運送及び貯蔵規則 非該当

航空法 非該当

海洋汚染防止法 施工令別表第1 有害液体物質 Z類物質

輸出貿易管理令 非該当

### 16. その他の情報

このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。

また記載の注意事項は通常の実施を対象としたものであって、特別な取扱をする場合は状況に適した安全対策を実施の上、十分な注意を払う必要があります。